プロジェクト報告書

報告日：2018/04/06

報告者：松村　和貴

|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクト名 | 航空路管制処理システム |
| プロジェクト概要 | 日本国内の航空路を飛行する航空機の管制を支援するシステム。  担当箇所は、データ受配信の中継となるサーバの処理を担当。また、本体アプリケーションを複製した管制官の訓練用システムの構築を担当。  （Java,Oracle,PostgreSQL,Linux）  長期マイルストーン  　・2018/10　　神戸管制部運用開始  　・2019/2 　　福岡管制部運用開始  　・2019/6　 　札幌管制部運用開始  　・2019/9 　　東京管制部運用開始 |
| プロジェクトメンバー | 松村和貴(TL/SE)、堀貴志(SE/PG)、根本理沙(SE/PG)  他）日本人BP1名、クルコム経由中国人BP18名、他社経由中国人BP14名  計36名体制（～3月）  4月～5月・・・34名、6月・・・32名、以降の要員は現在調整中 |
| 主な作業 | ・設計　・・・　他チームとの調整、設計ドキュメント作成  ・製造　・・・　設計チームのドキュメントを基にプログラムの製造  ・試験　・・・　結合テスト（IT）、システムテスト（ST）の設計、実施、証跡整理、故障解析・対応  ・その他　・・・　品質管理、完成図書、プログラム説明書の作成  ・4月より別サブシステムの品質強化対策作業に着手。（松村＋5名）  　（FO/DLK仕様充足性確認作業＆補完試験）（※～一旦5月末までの予定） |
| 作業状況 | ■全般  毎月の見積、要員計画、各タスクのスケジュール調整と内部チーム要員調整  ■お客様納品対応（根本）  ・お客様に提出しているプロジェクト説明書（現在作成している処理設計書をお客様に納品するように修正したもの）の修正依頼対応。  本体（オンライン業務系）  ■BL5  ・BL5-4th対応中。（追加案件あり）  ・他社間IT試験(根本)  　BL5の機能について品質向上と機能が正常に動作しているかを確認するため、試験項目表を作成し、他社が実施した試験でUBQ担当の処理が正常に動作しているかをログの中で確認する。また、故障やバグの原因調査依頼があれば対応する。  展開されたログの確認については中国メンバーに依頼し、作成してもらった証跡のレビューを行う。（４月～）  ・内部IT試験（中国メンバー、根本、堀）  　　中国メンバーが作成した試験項目表や試験実施の証跡についてレビューを行う。  ■ユーザ評価対応（松村）  ユーザが実際にシステムを利用して評価を始めたため、発生するバグや問い合わせの対応等。個々の問い合わせに対して対応緊急度が設定される。（1営業日以内、3営業日以内等。）  ■BL6/7  ・3月後半設計着手  訓練  ■BL5  ・製造  BL5\_2ndの製造が完了。（2月）  BL5-3.5に保安大案件の内容をマージ（～4/6）  ・内部IT試験  BL5\_2ndについて試験実施中。  ■保安大案件（航空保安大学校）  　・製造（根本）  　　訓練から枝分かれする形で保安大独自の仕様を取り込む。 |
| 今後の作業予定 | 本体（オンライン業務系）  ■BL5  ・BL5-4th、BL5-5th対応（神戸移管に向けた取り組み）  ・他社間IT試験  引き続き他社間の性能試験および品質強化試験を実施。  ・内部IT試験  　　仕様変更等により、プログラムを修正したものについて試験を実施。  ■BL6、BL7  ・4/16より設計着手。設計が完了次第、製造および試験を行う。  ■BL8（管制部再編）  ■ユーザ評価対応  ～ずっと  訓練  ・BL5-2nd対応  FO/DLK仕様充足性確認作業&補完試験  ・航空路管制処理システム（TEPS）において、最重要機能のFO/DLK機能についてIT/STバグが多発しているため本体の開発線とは別の動きとして本作業を実施していく。  　バグの発生傾向から品質強化対象機能に対する仕様充足性のチェックおよび、仕様有識者によるレビューを通して品質の強化を図る。  　また試験が不足していると思われる機能、品質強化を行った機能に対する補完試験を実施する。  　（作業プロセスも作業方法も具体的には提示されていないため、作業難航。） |
| 懸案事項等 | ・ |
| その他 | ・ |

* 全体スケジュール

